

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	備蓄物資等整備事業	会計名称	一般会計		担当課	危機管理課	
		予算科目	2 款 1 項 13 目	事業番号	483	所属長名	宮崎栄司
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	木村隆司	
法令根拠等	伊予市地域防災計画				実施期間	【開始】	令和/平成 25 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	大規模災害の備えた物資や資機材の備蓄と防災倉庫の整備						
事業の対象	市民 (帰宅困難者の市外住民を含む)			事業の目的	水、食糧及び生活用品等災害備蓄の拡充強化並びに防災倉庫の整備を図る。		
事業の内容 (整備内容)	水、食糧、毛布、歯ブラシ、おむつ及び簡易トイレ等災害備蓄の拡充強化を図るとともに保管施設として防災備蓄倉庫を整備し、来るべき災害に備える。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	地域特性に応じた検討には至っていないが、備蓄品目及び数量について精査を行い、より適切な備蓄に努めた。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	3,298	2,825	0	0	0	2,312	飲料水	リットル	2731	2885	2731	2361
財源内訳						0						
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0	主食(アルファ米等)	食	7091	8900	7091	11146
一般財源	3,298	2,825	0	0	0	2,312						
職員の人工(にんく)数	0.03	0.03				0.03	副食(レトルト食品等)	食	10308	12100	10308	11151
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	3,532	3,060				2,547	毛布	枚	1376	1560	1376	1375
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計		
					2,413	3,000	3,000	3,000	3,000	14,413		
成果指標	指標	「飲料水備蓄量/飲料水備蓄目標量25250」を成果指標とする。なお、参考としてアルファ米等主食類備蓄量及び缶詰等副食類備蓄量はともに9000食とする。			⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度	
	指標設定の考え方	飲料水及び食料の備蓄目標は、「愛媛県地震被害想定調査結果」に基づき、伊予市が定めた「備蓄物資整備計画」によるものとする				目標	100	100	100	100		
	指標で表せない効果					実績	108.2	93.5				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		今年度、備蓄計画等の見直しを行ったが、その計画どおり推進できている。								
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	備蓄計画等の見直しを行い、数量及び備蓄品簿の整理に努めた。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5						
		コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S		事業の方向性 所属長の課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 大規模災害発生時に市民の生活を確保するための飲食料及び生活必需品等の備蓄は、市民の自助による備蓄とともに市の責務である。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4							
	コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4							

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	